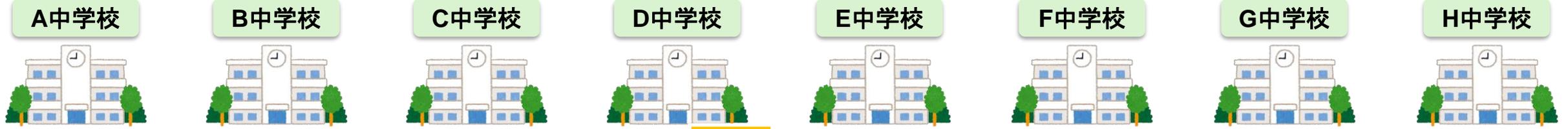


令和7年度

# 狭山市部活動実証事業

# Ⅲ さやま地域クラブ 活動イメージ

生徒は当該エリア内での活動に参加するが、希望があれば他のエリアでの活動に参加することが可能。指導者（兼職兼業を希望する教職員）も同様



※参加者数・指導者確保数により地域クラブ数は変動します



【想定している既存の部活動】  
 サッカー バスケ(男女) 卓球 陸上 バレー(女)  
 野球 テニス(男女) 剣道 バドミントン 吹奏楽

【想定している既存の部活動】  
 ソフトボール(女)

【想定している既存の部活動】  
 柔道

【登録クラブ】  
 チアダンス(男女)  
 公民館活動団体  
 など

## Ⅱ さやま地域クラブ(仮称) エリアイメージ図



### ○運動部 11種目

(サッカー、野球、ソフトテニス、ソフトボール、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、剣道、柔道、卓球、陸上)



### ○文化部 1種目

(吹奏楽)



# 生徒向けアンケート

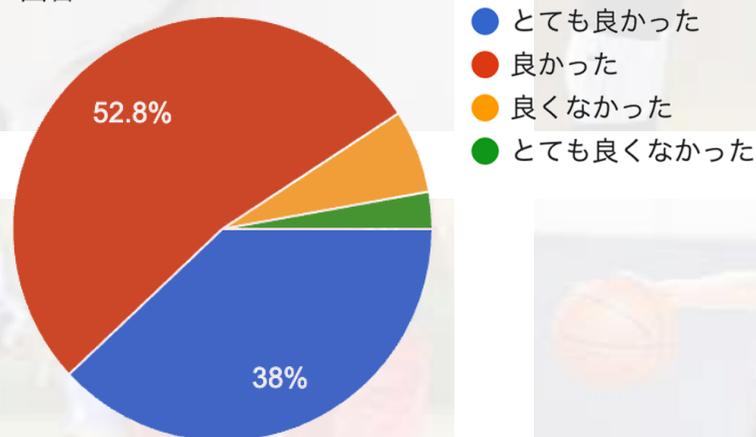


## 【生徒の満足度と活動の成果】

- ・ 9割以上の生徒が活動に満足
- ・ 専門的な指導が刺激になった

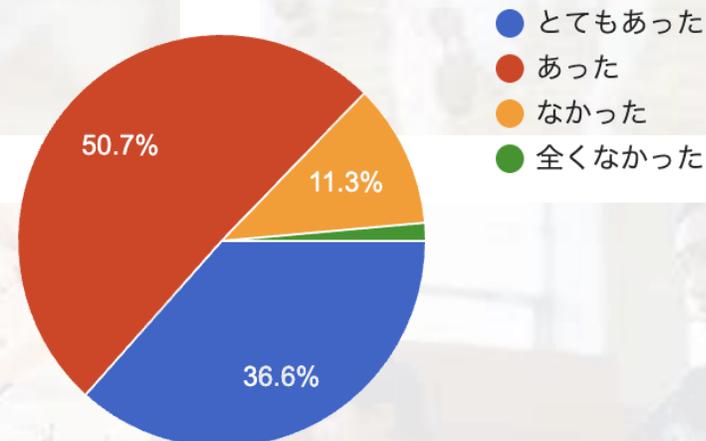
Q3 地域クラブ活動に参加してみて、どう感じましたか？

142 件の回答



Q7 この活動を通じて、自分にとって変化（技術の向上や新しい友達ができたなど）がありましたか

142 件の回答



**満足度91%**： 専門的な指導員による「技術指導」と、他校生徒との「新しい交流」が高い満足度に直結。

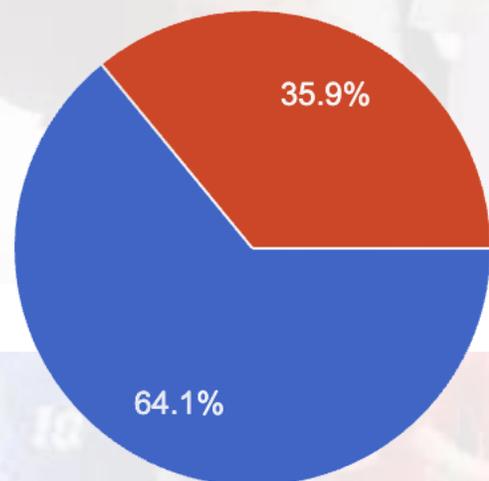
**成長の実感**： 「顧問とは違う視点のアドバイス」「新しい練習メニュー」により、短期間でも技術向上を実感している生徒が多い。

**生徒の声**： 「専門知識を持った先生に教わり、苦手が克服できた」  
「他校に友達ができて、練習に行くのが楽しみになった」

## 【生徒の参加希望状況】

Q9 来年度から始まる地域クラブ活動への参加を希望しますか

142 件の回答



- 希望する
- 希望しない

### ■ 今後の改善に向けた視点

#### 「選ばれる」ための工夫

外部チーム所属生徒も「スポット参加」したくなるような魅力や、部活動との棲み分けの明確化が必要。

#### 不安の解消

他校会場へ行く際のルート案内や、事前に指導員の顔が見える仕組み（動画や顔合わせ）を設けることで、未参加層の取り込みを図る。

### 【希望する】

実証参加生徒の継続意欲：約64%が「希望する」

一度体験した生徒の過半数は上手くなれる、練習しやすい、指導が良いなど活動をポジティブに捉えており、継続的なニーズがある。

### 【希望しない】

未参加生徒の主な理由（不参加の壁）

他活動との重複（約40%）

学校外のクラブチームに所属しているケース。

環境変化への不安（約11%）

「活動場所が変わる」「指導者が変わる」ことへの心理的・物理的ハードル。

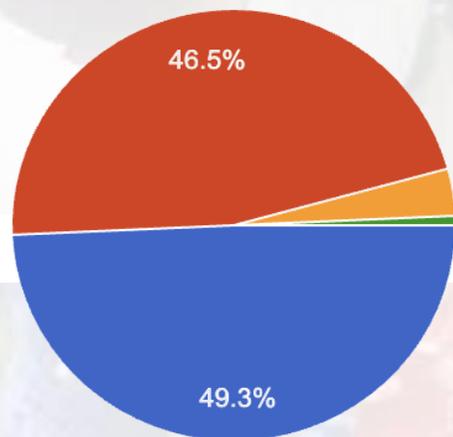
情報不足

「案内がなかった」「活動があるか分からなかった」という認知の漏れ。

## 【その他の状況・安心、安全面】

Q4 指導員の教え方や声かけの内容は分かりやすかったですか

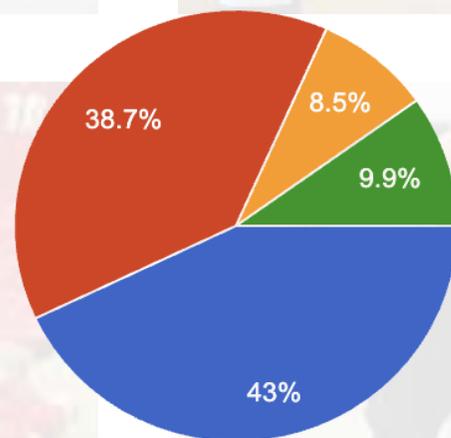
142 件の回答



- とても分かりやすかった
- 分かりやすかった
- 分かりにくかった
- とても分かりにくかった

Q5 他校の生徒と一緒に活動することは、いかがでしたでしょうか

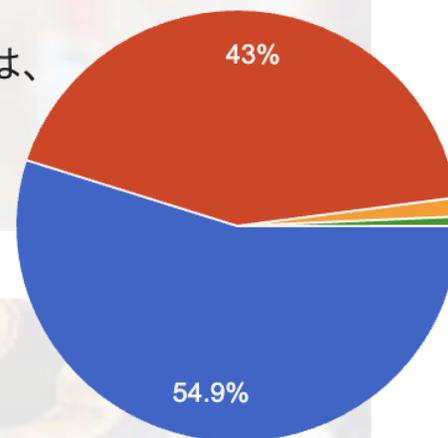
142 件の回答



- とても良かった
- 良かった
- 良くなかった
- とても良くなかった

Q6 活動にあたって、安全面（移動・けが・事故への配慮）に不安はありましたか

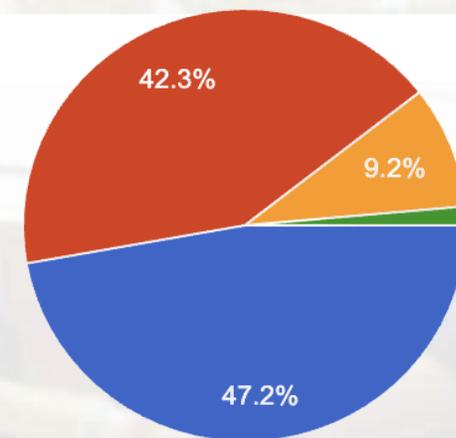
142 件の回答



- とても安心だった
- 安心だった
- 不安だった
- とても不安だった

Q8 活動中に困ったことや、やりづらいつと感じることはありましたか

142 件の回答



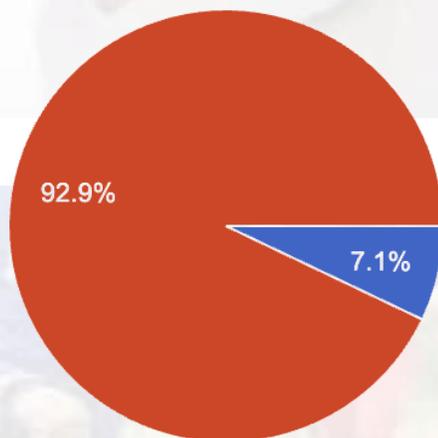
- なかった
- あまりなかった
- あった
- とてもあった

## 【参加しなかった生徒の状況】

Q2 来年度から始まる地域クラブ活動への参加を希望しますか

155 件の回答

- 希望する
- 希望しない



今回の活動に参加しなかった生徒の希望状況

**93%が参加希望なし**

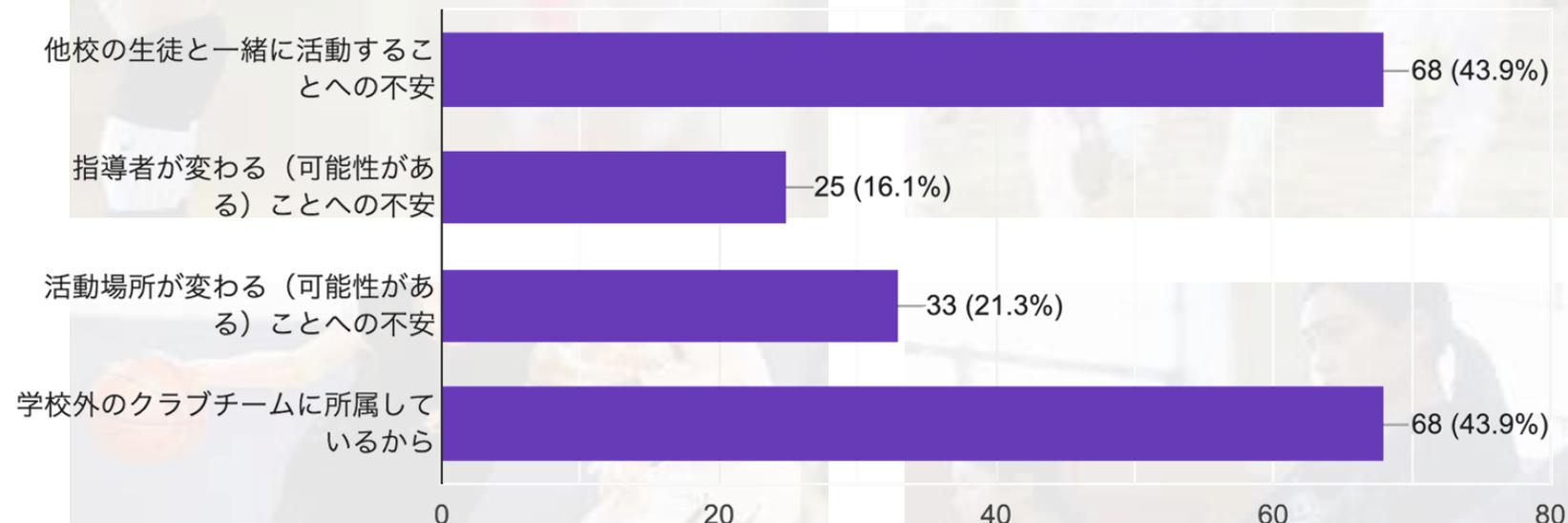
「クラブチーム所属」「環境が変わる」「移動が大変」「吹奏楽がなかった」

現在所属しているクラブチームへの所属や他校生徒と活動することへの不安がある。

地域クラブの認知度を改善することで、環境への変化への不安をなくすように説明会などを行う。

Q3 実証の地域クラブに参加しなかった理由を教えてください

155 件の回答





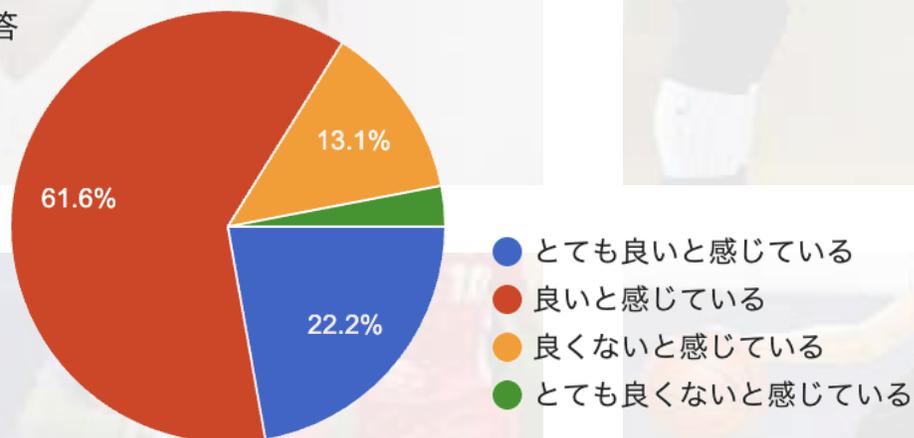
# 保護者向けアンケート

# 【保護者の満足度と活動の成果】

## 保護者が実感した2つの大きなメリット

Q3 地域クラブの活動はいかがでしたか

99件の回答



### 専門スキルの継承

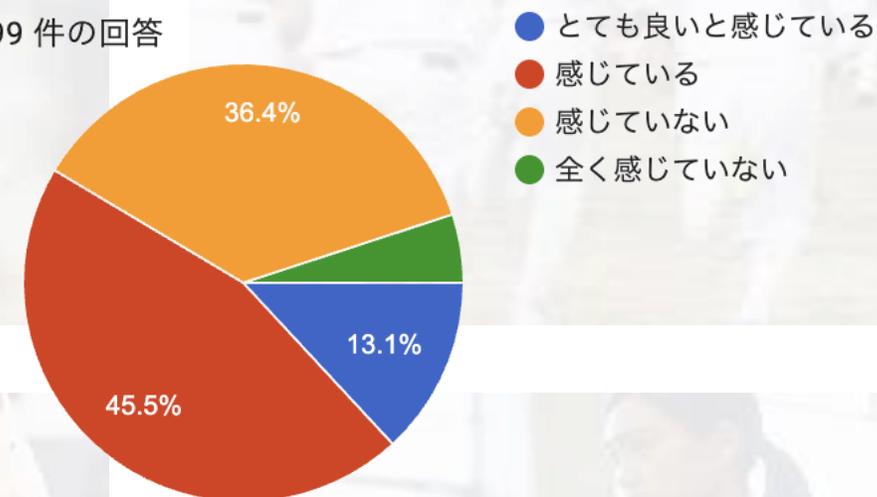
「学校に指導者がいない種目でも、経験者から直接学べる環境」への高い満足度。

### コミュニティの拡張

自校完結では得られない「他校生徒との交流」が、子供の社会性や新鮮な意欲を育てている。

Q4 地域クラブ活動に参加してからのお子さまに良い変化があったと感じますか

99件の回答



### 主体的に取り組めた

「子どもたち同士でどうすればいいか考えるようになった」  
「具体的な技の指導を受け、本人がとても喜んでいた」  
「やる気が出てきた」

### 心理的充実

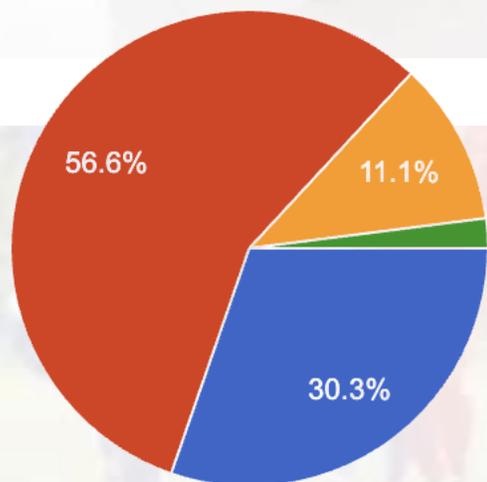
「より部活が楽しくなり、仲間との絆も深まっている」  
「他校の子と良い刺激を合っている」  
「毎回楽しみにしていた」

## 【指導に対する安心、安全面】

Q5 指導員の接し方や活動中の安全面（けが・事故などの対策）について、どう感じていますか

99 件の回答

- とても安心している
- 安心している
- 不安を感じている
- とても不安を感じている



### 安心感を得られた点

- ・「先生が2人体制で、より視野の広いアドバイスをいただけた」
- ・「学校関係者が指導員だったので、知らない方だけになる不安がなく安心できた」

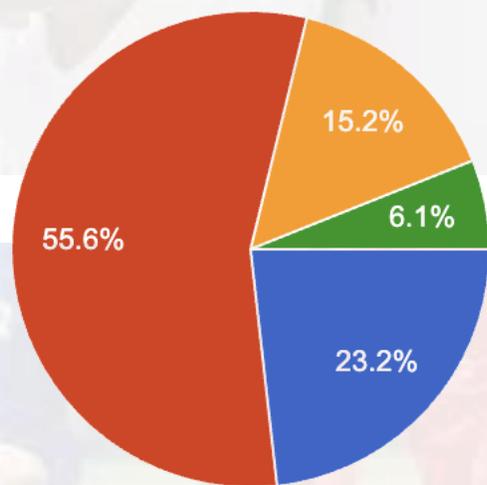
### 公平性と運用システムの課題

- ・「顧問が同じ学校チームの指導者だと、他校の生徒から見てフェアに感じない可能性がある」
- ・「どの方が指導員か最後まで分からなかった」
- ・「緊急時の連絡先も明示してほしい」
- ・「欠席、遅刻連絡」など送り先がわかりにくい
- ・「普段と違い自転車で向かいのが不安だった」

## 【活動場所と送迎に関する課題】

Q6 活動場所への移動や送迎について、  
どう感じていますか

99 件の回答



- とても負担が少ない
- 負担が少ない
- 負担が大きい
- とても不安が大きい

### 「拠点校の偏り」による負担の不均衡

「自校開催」の生徒は負担ゼロで満足度が高い一方、移動を伴う生徒には「片道30分以上の自転車移動」

「体調不良」「パンク等のトラブル」が発生しており、格差が顕著。

「受益者負担（お金）」を導入する際、移動負担に差がありすぎると不満に直結。

→ 「月ごと・回数ごとの交互開催」や「会場のバランス配置」を求める声がある

### 持続可能な参加のための『2つの仕組みづくり』

#### 物理的ケア

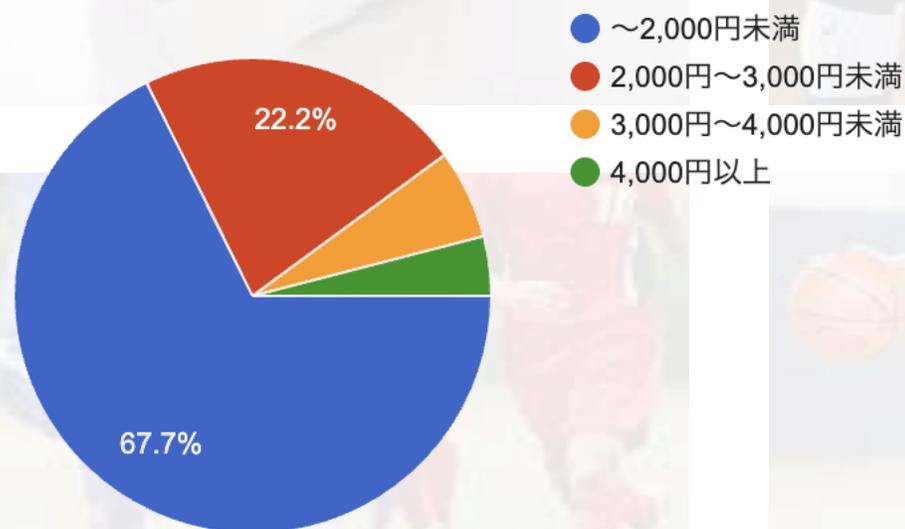
拠点校の持ち回り開催（公平性）や、悪天候時の活動判断基準の明確化。

#### 情報的ケア

終了時間の徹底管理と、アプリ等を活用した「安心連絡網」の高度化。

## 【保護者の受益者負担に関する意識】

Q7 令和8年8月の本格始動に向け、活動費（受益者負担）が発生することについて、1か月あたり、どの程度の活動費であれば無理なく継続して参加可能だと思いますか。



### ポジティブな視点

- ・「対価」としての受容:  
「実力ある指導者に教わるなら費用は仕方ない」  
「安すぎると教える側のモチベーションも下がる」  
→ 指導の質を維持するための応分負担に理解を示す。
- ・主体性の向上:  
「費用を支払うことで、子供もしっかり取り組むはず」という、教育的な副次効果を期待する意見も出ています。
- ・結論:  
「上達できる」「専門性が高い」という付加価値が明確であれば、受益者負担は受け入れられやすい傾向にあります。

## ネガティブ・慎重な視点：不透明さへの懸念と既存負担との比較

### ・負担増への抵抗

「これまでは無料だった」という前提があるため、月額1,000円～2,000円を超えると参加を躊躇する層がボリュームゾーン（約7割）です。

### ・使途の透明性への要求:

「指導員の交通費や事務局運営費まで保護者が持つのか？」という厳しい指摘があります。

「何にいくら使われるのか」の線引きを明示することが、納得感を得るための必須条件です。

### ・環境の維持:

「お金を払っても練習試合の数が減るなら意味がない」など、サービスレベルが低下することへの懸念が強く見られます。

## 「金額の多寡だけでなく、『納得感の設計』が重要」

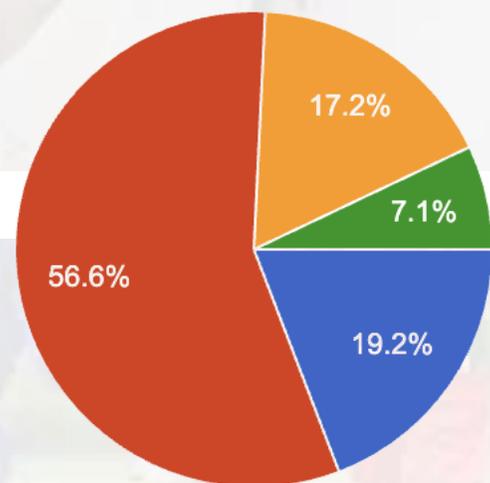
単に「徴収する」のではなく、「専門指導の対価」としての価値と、

「保険や備品などの安全・環境維持費」としての使途をセットで明示することが、本格実施へのスムーズな移行には不可欠です。

## 【保護者の参加希望状況】

Q8 今後もお子さまを地域クラブ活動に参加させたいと思いますか

99 件の回答



- ぜひ参加させたい
- 参加させたい
- あまり参加させたいとは思わない
- 参加させたいとは思わない

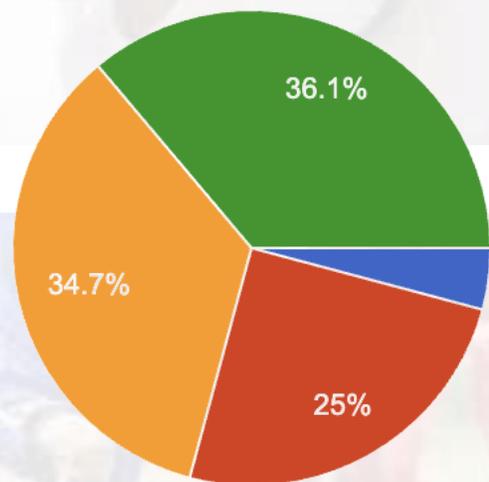
### 来年度以降の参加意欲と本格実施への期待・不安

- ・ **事業意義への高い支持**  
**教育環境の補完**  
小規模校の活動維持や、専門指導による「競技継続」の機会確保を歓迎。  
**働き方改革への共感**  
教員の負担軽減を支持し、授業の質向上へ期待する声。
- ・ **継続・参加を左右する「4つの懸念」**
  - 活動の出口**  
大会や練習試合の機会が、部活動と同様に確保されるか。
  - 費用の納得感**  
部活動との「違い」や、会費に見合う「付加価値」の明確化。
  - 情報の即時性**  
8月以降の計画や、月間スケジュールの早期開示。
  - 運営の質**  
生徒数増加による練習量の確保、および安全な連絡体制の確立。

## 【不参加だった保護者の状況】

Q2 今後もお子さまを地域クラブ活動に参加させたいと思いますか

72 件の回答



- ぜひ参加させたい
- 参加させたい
- あまり参加させたいとは思わない
- 参加させたいとは思わない

### 【不参加の理由：参加を阻む3つの障壁】

#### 1. 外部活動・私生活との重複（物理的要因）

##### ・既存コミュニティの優先

硬式野球、ダンス、塾、他クラブチーム等の活動が既に生活の中心となっている。

##### ・休養の重視

土日は家庭でゆっくりしたい、外部活動で忙しく他に目を向ける余裕がない。

#### 2. 送迎負担と安全への懸念（環境的要因）

##### ・送迎の限界

共働き等による親の送迎負担、時間的制約。

##### ・移動リスク

慣れない他校への自転車移動に伴う交通事故への強い不安。

#### 3. 心理的ハードルと指導への疑念（心理的要因）

##### ・対人不安

知らない人と活動することへの抵抗感、新しい環境への踏み込みにくさ。

##### ・指導の混乱

学校（平日）と地域（休日）で指導者が変わることによる、教え方の違いや子供の混乱への懸念。

##### ・現状満足

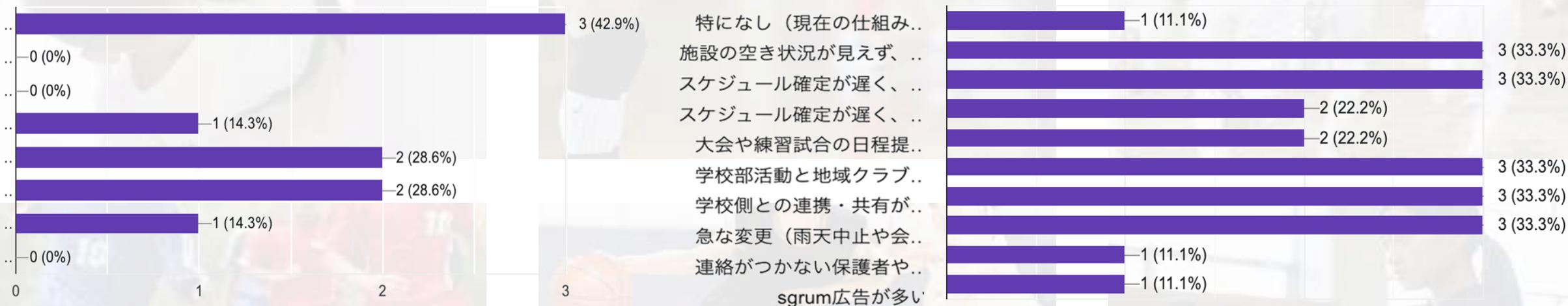
「部活で十分」という認識や、不登校等の状況による参加困難。



# 指導員向けアンケート

# 【Q4・スケジュール調整・情報の伝達】

Q4 スケジュール調整や情報の伝達について、困っていることや改善が必要だと思う点がありますか。(あてはまるものすべてにチェック☐を入れてください)



## 兼職兼業 (教職員)

### 現状

学校部活動の予定と地域クラブの予定が重複し、現場の先生がその「板挟み」となって調整に奔走する状況が発生。

### 課題

大会日程の提示が遅いため、自校の活動計画や保護者への案内が後手に回り、学校としての信頼を損なわないかという不安が強い。

## 一般指導員

### 現状

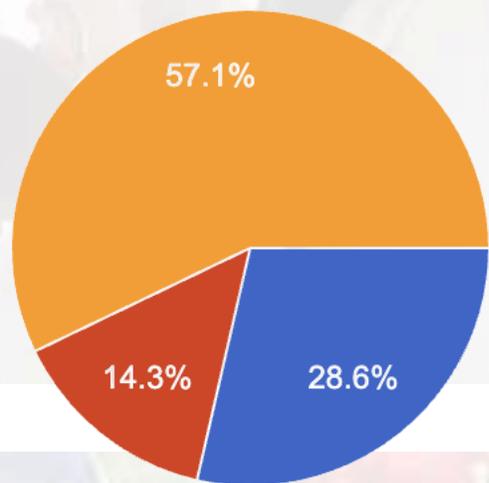
施設の空き状況が不透明で、運営事務局から「指導員同士で直接調整してほしい」と丸投げに近い状態にされていることに不信感を抱いている。

### 課題

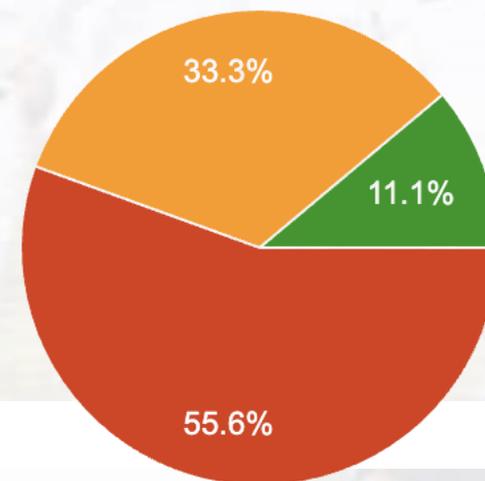
確定連絡が遅いため自身の仕事や私生活の予定が立てづらく、さらに雨天時などの急な変更連絡が徹底されないといった「組織的な連絡網」の欠如を指摘。

## 【Q7・謝金・処遇面（責任と報酬のバランス）】

Q7 謝金、交通費、保険、練習試合帯同などの条件は、業務の内容や責任に見合っていると感じますか



- 十分に見合っている
- 見合っている
- 見合っていない
- 全く見合っていない



### 兼職兼業（教職員）

#### 現状

約6割が「見合っていない」と回答。特に練習試合等の遠征にかかる「電車代（交通費）」が自腹である点に強い不満がある。

#### 課題

国が定める「3時間制限」により、準備や試合後の指導が削られ、質を担保できないまま責任だけを負うことに制度的な限界を感じている。

### 一般指導員

#### 現状

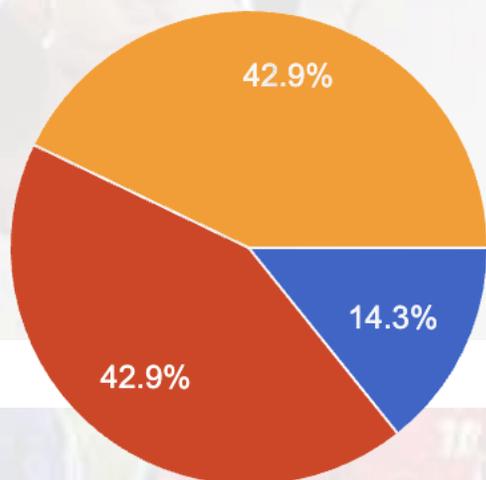
約6割が「見合っている」と回答。ただし、指導責任者（主顧問役）と補助員で責任の重さが違うのに処遇に差がない点を疑問視する声も。

#### 課題

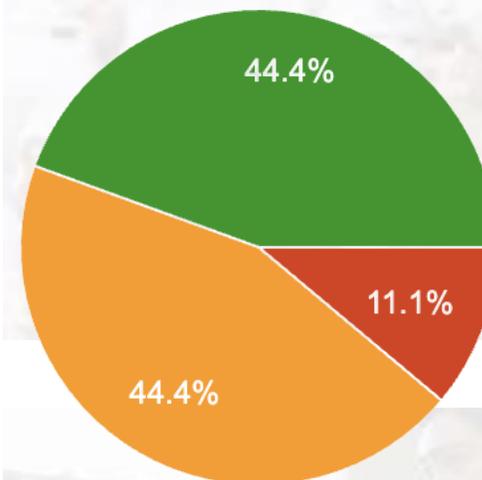
謝金の中に「交通費」が含まれている現行ルールでは、遠征が多い種目ほど実質的な報酬が減るため、交通費の別途実費支給を強く要望。

## 【Q8・運営体制全体への評価】

Q8 現在の地域クラブの運営体制について、どう感じていますか



- 特に課題は感じていない
- 一部課題はあるが対応可能だと思う
- 課題が多いと感じている
- 体制の見直しが必要だと感じている



### 兼職兼業（教職員） 現状

9割が「課題あり」と回答。現在は「教員同士の阿吽の呼吸」で何とか回っているが、事務局のサポート体制には頼りなさを感じている。

### 課題

今後、教員が完全に身を引いた際、外部指導員と学校の間で「施設の管理・事故対応・備品補充」が機能するビジョンが見えないことを不安視。

### 一般指導員 現状

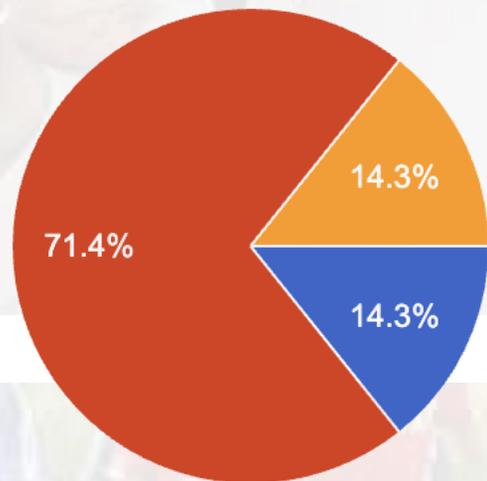
9割が「体制の見直しが必要」と回答。運営側の準備不足を「怠慢」と厳しく指摘。年間スケジュールの早期開示や、備品要望の受付窓口の確立を要求。

### 課題

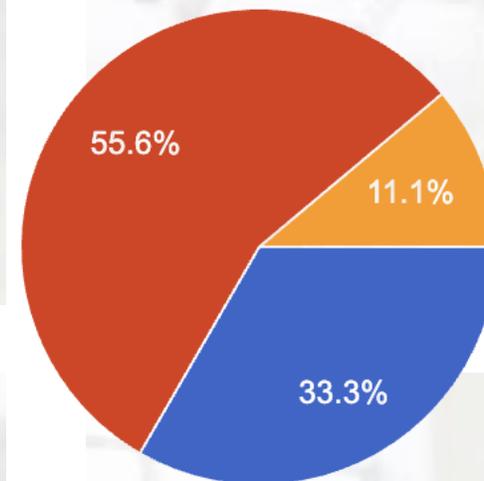
登録しているのに来ない生徒への対応など、指導員が踏み込めない「管理業務」を事務局が責任を持って行うべきという強い反対意見（改善要望）。

## 【Q9・継続意欲と生徒の変化への実感】

Q9 令和8年8月の本格始動後もクラブ指導員を継続したいと思いますか



- ぜひ継続したい
- 継続したい
- 継続は難しい
- 継続は考えていない



### 兼職兼業（教職員） 意欲

8割以上が継続希望。「指導への素直な反応」や「前向きな努力」を生徒に感じており、地域移行の必要性自体は強く認識。

### 懸念

部活動と異なり「任意参加」の性格が強いため、活動への参加率が下がることや、大会・練習試合の出口戦略が不透明なことを危惧している。

### 一般指導員 意欲

9割以上が継続希望。体制への不満は山積みだが、\*\*「生徒が技術を習得して喜ぶ姿」や「意欲的な質問」\*\*に大きなやりがいを実感。

### メッセージ

他校交流によるスケールメリット（適切なレベル別練習など）を高く評価。保護者の協力体制をより巻き込む仕組み作りが必要だと提案。